

GLC 2k

基本操作



Gammaflux®

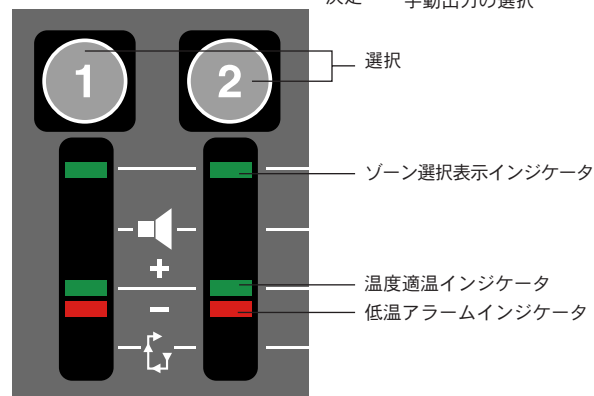
GLC 2K 起動手順

- ① 個々のゾーンを「オフ」にしてください
- ② メインブレーカを入れます
- ③ ゾーンを選択。最初のゾーンを押して保持。次に最後のゾーンを押して保持、離してください。点灯した全てのゾーンが選択されます
- ④ エリアコードの変更。温度設定を選択、設定ポイントを入力、決定ボタンを押してください。選択した全てのゾーンの設定が変更されます
- ⑤ ゾーンを選択。最初のゾーンを押して保持。次に最後のゾーンを押して保持、離してください。点灯した全てのゾーンが選択されます
- ⑥ エリアの変更。自動・手動のいずれかを選択してください。自動運転向けには「0」を入力し、決定ボタンを押してください
- ⑦ ゾーンパワースイッチを「オン」にしてください
- ⑧ ゾーンは低温アラームを読み込みます。緑の温度適温インジケータが点灯した場合、設定温度を保持しています

設定エリア



ゾーンの選択/状況エリア



 **Gammaflux®**

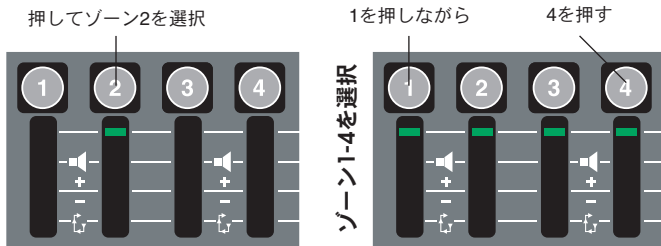
Gammaflux
Sterling, VA USA (米国) Tel. +1-(703) 471-5050
Wiesbaden, Germany (ドイツ) Tel. +49-(0)-611-973430
Ube, Japan (日本) Tel. +81-(836) 54-4369
www.gammaflux.com; www.gammaflux.de

設定ポイントの入力方法

自動または手動の選択方法

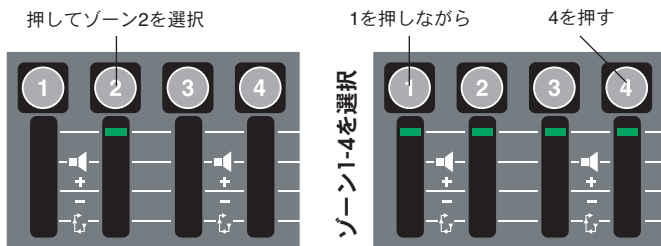
① ゾーンを選択

ゾーン2を選択



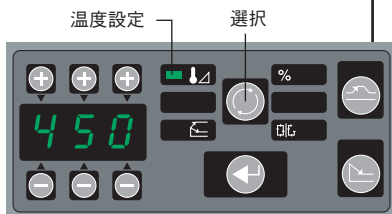
① ゾーンを選択

ゾーン2を選択



* 自動制御を選択 (自動)

設定エリア



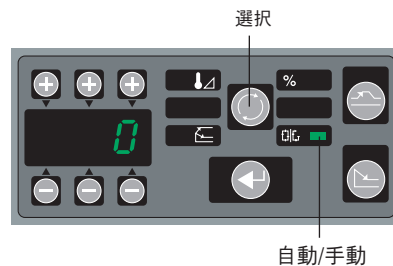
設定温度を入力 (自動)

設定エリア



② 自動/手動を選択

設定エリア



「0」を入力し、自動を選択 (温度制御)

設定エリア



* 手動制御を選択 (手動)

設定エリア



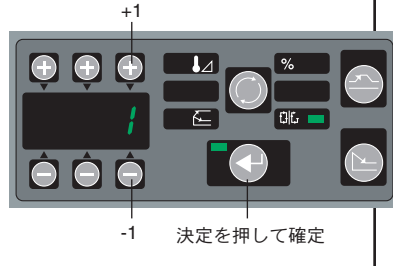
設定出力 (%) を入力 (手動)

設定エリア



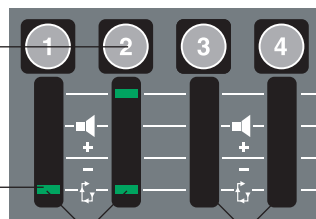
「1」を入力し、手動を選択 (出力%)

設定エリア



ゾーン2を選択

手動を示すライト

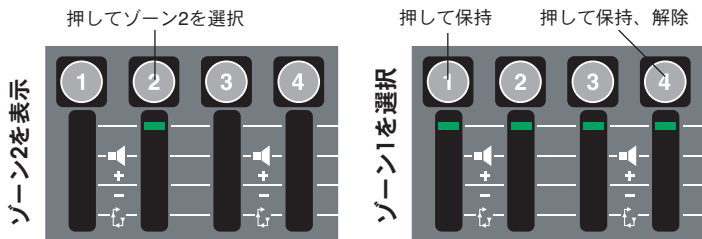


手動 (点灯)

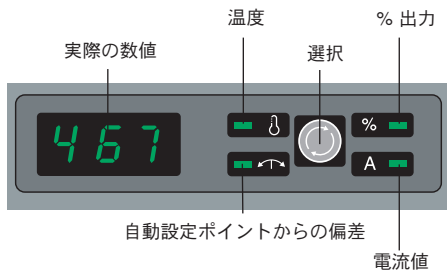
自動

プロセスの詳細を見る方法

- 1 ゾーンを選択してください(グループを選択した場合、最も左のゾーンが表示されます)



- 2 アイテムを選択して表示

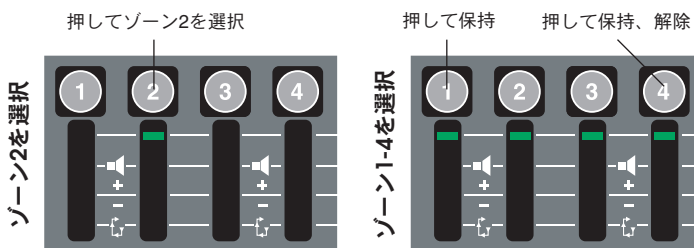


- 3 他のゾーンを見るには、手順1と2を繰り返してください。

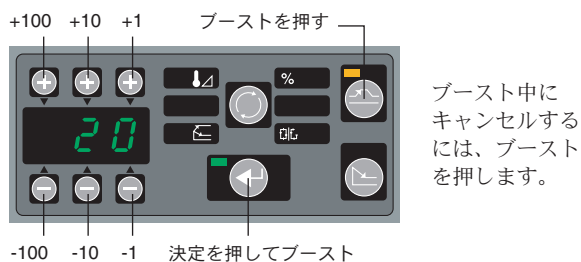
ブースト機能 – ブーストする方法

ブーストによりゾーンあるいはゾーン・グループの温度が一時的に上昇し、スタートアップ時のもたつきを解消

- 1 ブーストしたいゾーンを選択



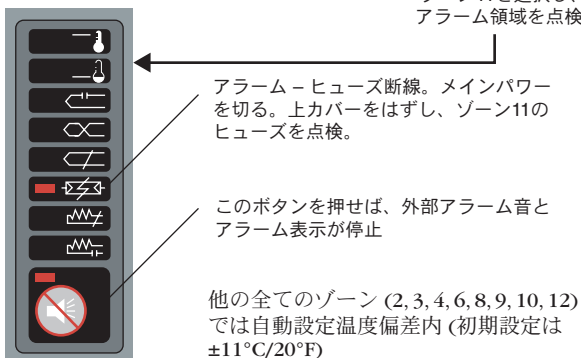
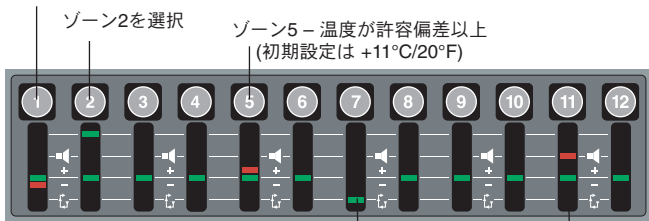
- 2 ブーストを押し、ブースト量を入力、決定を押します



- 3 ゾーンは1分間(初期値)に対して11°C/20°F(初期値)上昇させます。

全ゾーンを素早く見る方法

ゾーン1 – 温度が許容偏差以下(初期設定は-11°C/20°F)



スタンバイの利点と使用方法

全てのゾーンをスタンバイ温度にし、樹脂の劣化を防ぎながら再昇温時間を短縮します。

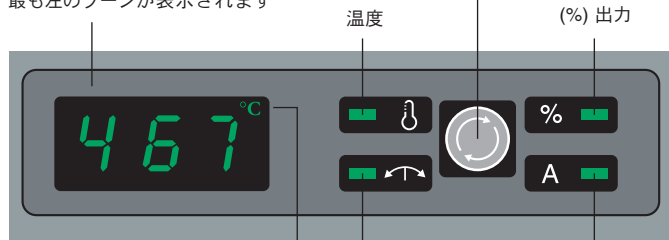
- 1 全てのゾーンをスタンバイにするには、スタンバイを押し、決定を押します。



- 2 全てのゾーンはスタンバイ温度になります。暑いゾーンはスタンバイ温度へと冷却され、冷たいゾーンはスタンバイ温度まで加熱されます。自動ゾーンの初期設定は104°C/220°F、手動ゾーンの設定は設定出力の半分の値です。
- 3 スタンバイをキャンセルするには、スタンバイを押してください。ゾーンは以前の設定に戻ります。

表示

選択されたゾーンの実際の温度。
グループを選択した場合には、
最も左のゾーンが表示されます



点灯している場合は摂氏、
そうでない場合は華氏。

自動設定ポイント
からの偏差

電流値



パワースイッチゾーン 1
“I”=オン, “O”=オフ

設定エリア



温度設定、
変更・表示。

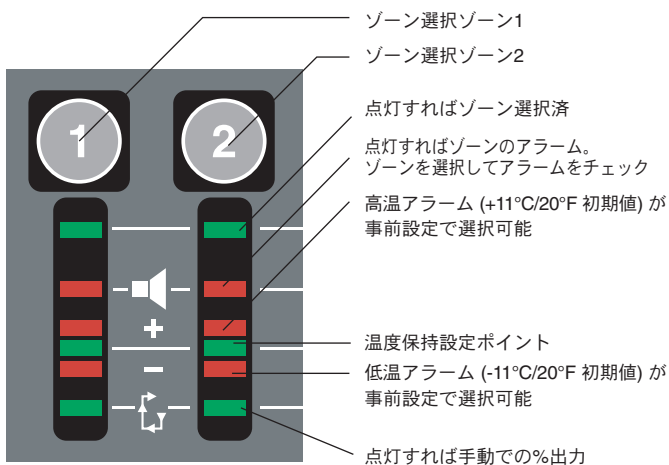
手動 % 設定、
変更・表示。

ブースト – 選択したゾーンで一時的に
温度を増加します。温度と時間の増加
幅は可変であり、初期設定はそれぞれ
11°C/20°Fと1分です。

スタンバイ – 全てのゾーンで自動設定
温度を設定温度（初期設定は104°C/220°F）
に設定します。手動の場合、%出力設定の
半分の値となります。

トリム – 選択したゾーンで恒久的
な自動温度設定をおこないます。
最大 ±11°C/20°F。(ゾーンの
選択 – 最初のゾーンを押し保持、
次に最後のゾーンを押し、離して
ください。変更量を入力、決定ボ
タンを押してください。点灯して
いる全ゾーンの設定が変わります)

自動制御/
手動出力の
選択



ゾーン選択ゾーン1
ゾーン選択ゾーン2

点灯すればゾーン選択済

点灯すればゾーンのアラーム。
ゾーンを選択してアラームをチェック

高温アラーム (+11°C/20°F 初期値) が
事前設定で選択可能

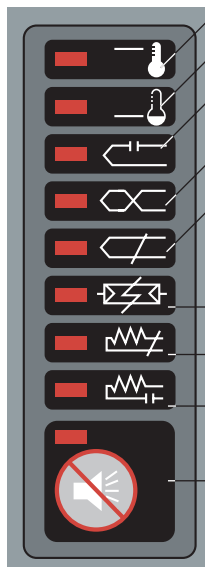
温度保持設定ポイント

低温アラーム (-11°C/20°F 初期値) が
事前設定で選択可能

点灯すれば手動での%出力

ゾーン選択/状況

アラーム



高温 (+11°C/20°F 初期値)

低温 (-11°C/20°F 初期値)

熱電対オープン – 熱電対の接続が断絶

熱電対が逆転 – T/Cの+/-が逆

熱電対ピンチ – 熱電対が極度によじれ曲げられた場合、
またはコントローラーがそのように判断した場合に対応
します（初期値は出力100%で、5分以内に 11°C/20°F
の上昇を検知する必要あり）。真正ピンチ – 温度の読み
取りが不安定または不可能 – コントローラー暴走。偽性
ピンチ – ヒーターが小さすぎてゾーンを十分に加熱で
きないことを意味します。

オープン・ヒューズ – モジュールのヒューズ不良

ヒーターがショート – ヒーターがショートしたか
コントロールの上限値を超えています。

オープン・ヒーター – どこかヒーターの
接続が断線。

アラームをクリア、外部ライト/アラームを切る